玉川上水マンション計画
「見直し指導を」
立川市議会に住民請願

立川市柏町の玉川上水沿いに建設が計画されている高層マンションについて、周辺住民らでつくる市民団体は一日、計画見直しの指導強化を求める請願と約千百人分の署名を市議会に提出したことを明らかにした。十二月定例会で審議される。

提出したのは「玉川上水駅隣接高層マンション建設の周辺環境への影響を考える会」（海老原邦夫代表）メンバー。「環境や景観への十分な配慮がなく、周辺住民らの意向を反映していない」として、都と連携して事業者への指導を強化するよう求めている。

同会などによると、マンションは西武鉄道（本社・埼玉県所沢市）が西武拝島線玉川上水駅西側の玉川上水沿いに計画。同社の資材置き場だった約一万平方㍍の敷地に、鉄筋コンクリート造り十階建て（二百十八戸）を建設する予定。

同会は「玉川上水に面する高層マンションはなく、良好な景観を損なう」と指摘。高さ低減など計画縮小や、周辺道路の安全確保などを求めている。

西武鉄道によると、現在、この計画について都や立川市などと協議中という。　（服部展和）

左：東京新聞　12 月 2 日朝刊

玉川上水景観保護
都と立川市連携を
住民団体が請願

立川市の玉川上水周辺住民らでつくる「玉川上水駅隣接高層マンション建設の周辺環境への影響を考える会」は1日、良好な周辺環境を守るため、同上水沿いでの建物建築について、市と都が連携して指導を強化することを求める請願を市議会に提出した。

同市柏町の同上水近くに西武鉄道がマンション（10階建て、218戸）建設を予定していることを受けてのもの。同上水沿いの遊歩道に沿って、高さ約30㍍、横幅約210㍍の規模になるという。同会は「景観への配慮がなく、周辺住民の意向も反映していない」として、計画の見直しを求めている。

上：読売新聞　12 月 2 日朝刊

立川

高層マンションに住民反発
玉川上水近くに計画 「環境に影響」と

立川市柏町5の玉川上水近くに高層マンションの建設計画が浮上し、地元住民らが「景観や環境に影響が出る」と反発を強めている。これまで、住民でつくる複数のグループが、建設計画の変更などを求める請願書や提案書を市議会などに提出。住民側は「玉川上水周辺の豊かな自然や安全な生活環境を守るため、（事業者側は）計画をもう一度見直してほしい」と訴えている。

玉川上水は、江戸時代に開削された全長約43㌔の用水路。03年に国の史跡に指定され、都の歴史環境保全地域にもなっている。

高層マンションは西武鉄道（本社・埼玉県所沢市）が計画。資材置き場などに使用していた土地を整地後、218戸が入居する10階建てマンション（高さ29・8㍍）を建設する予定。マンションの幅は約210㍍で、玉川上水に沿うように建てられるという。当初、着工は11月、完成予定は08年3月となっていたが、工事は始まっていない。

住民側は9月に「玉川上水駅隣接高層マンション建設の周辺環境への影響を考える会」（海老原邦夫代表）を設立。市議会議長に、同鉄道が環境や景観を守るよう指導の強化を求める請願書と1113人分の署名を提出。また、「玉川上水の自然保護を考える会」（栗俊男代表）も、計画の縮小などを求める提案書を同鉄道に提出した。

同鉄道側は住民説明会を2度開催。住民側は、騒音や電波障害などの環境調査や、解体工事に伴う大型車両の通行経路の変更などを求めたが、同鉄道側は「行政と調整中」「被害が出たら補償する」などと答えるにとどまったという。海老原さんは「住民側が納得できるような説明や対応をしたうえで計画を進めるべきだ」と話している。

6日午後7時から、こぶし会館（幸町5）で建設計画に関する説明会が、11日午後7時からは工事説明会が開かれ、住民の参加を呼びかけている。問い合わせは海老原さん（080・5476・2888）。【武内亮】

立川市柏町5の高層マンションの建設予定地。近くに玉川上水がある

写真カラー掲載

左：毎日新聞　12 月 5 日朝刊